「静岡県下における 1707 年宝永地震津波の痕跡調査（津波工学研究報告第 28 号）」に掲載された座標の訂正について

矢沼 隆*

1. はじめに

「静岡県下における 1707 年宝永地震津波の痕跡調査（津波工学研究報告第 28 号）」（以下、「論文」と表記する）において、論文中に掲げた総括表に記載した緯度・経度の値にずれがある調査地点が見られたので、ずれの原因を考察し、修正した座標値を求めた。

2. 位置のずれの原因

論文に掲げた津波痕跡の現地調査は2010年11月16日・17日に筆者らが行った。現地調査では津波痕跡位置をハンドヘルドGPS（機器名：Garmin社製eTrex）にて緯度経度を測定した。

論文を執筆するにあたり、図中に掲げた痕跡位置図には現地調査時の測定位置を示したが、総括表に掲げた緯度経度はハンドヘルドGPSの読み取り値をそのまま掲載した。ハンドヘルドGPSの測位時に、衛星数が十分補足されていない等の理由で測位精度が悪化した条件での測位があり、それらの測位結果を論文にそのまま掲げてしまったのが原因であると考えられる。

3. ずれが見られた痕跡調査結果と修正した位置

以下、ずれが見られた痕跡調査結果について、論文に掲載した測定地点図と、論文総括表の座標位置と修正した位置を掲げた図を並べて示す。

図1 测定地点図（下田市七軒町）

図2 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（下田市七軒町）

*株式会社パスコ
図3 測定地点図（寺下、家前道の範囲）

図4 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（寺下、家前道の範囲）
３-２ 南伊豆町藻（寺下、家前道の範囲）
論文に掲載した測定地点図を図 3 に、論文総括表の位置及び修正した位置を図 4 に示す。論文総括表の位置は、寺下については正しい位置よりも約 28m 北西方向に、家前道の範囲については約 33m 西北西方向にずれていた。

図 5 測定地点図（大原町）

３-３ 南伊豆町藻（大原町）
論文に掲載した測定地点図を図 5 に、論文総括表の位置及び修正した位置を図 6 に示す。論文総括表の位置は、正しい位置よりも約 12m 東方向にずれていた。

図 6 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（大原町）
3-4 南伊豆町湧（田尻畑、和田の前）

論文に掲載した測定地点図を図7に、論文総括表の位置及び修正した位置を図8に示す。

図7 測定地点図（田尻畑、和田の前）

図8 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（田尻畑、和田の前）
3－5 池津市内浦三津

論文に掲載した測定地点図を図9に、論文総括表の位置及び修正した位置を図10に示す。論文総括表の位置は、正しい位置よりも約17m南東方向にずれていた。
3－6 清水市清水区三保（江湖）
論文に掲載した測定地点図を図11に、論文総括表の位置及び修正した位置を図12に示す。論文総括表の位置は、正しい位置より約52mと北北東方向にずれていた。

図11 測定地点図（江湖）

図12 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（江湖）
3 - 7 清水市清水区三保（札の辻）
論文に掲載した測定地点図を図 13 に、論文総括表の位置及び修正した位置を図 14 に示す。論文総括表の位置は、正しい位置よりも約 9m 南南西方向にずれていた。

図 13 測定地点図（札の辻）

図 14 論文総括表の座標位置（▲）及び修正した位置（●）（札の辻）
3-8 牧之原市相良

論文に掲載した測定地点図を図15に、論文総括表の位置及び修正した位置を図16に示す。論文総括表の位置は、正しい位置よりも約25m西南西方向にずれていた。
4. まとめ
以上の結果より、位置を修正した調査地点について位置情報の正確さを表記した総括表を表1に示す。

参考文献
矢沼隆・都司嘉宜・今井健太郎・行谷佑一・今村文彦、2011、静岡県下における1707年宝永地震津波の痕跡調査、津波工学研究報告、28、93-103。

表1 現地調査結果総括表（位置の修正結果反映）

<table>
<thead>
<tr>
<th>住所</th>
<th>古文書の記述、伝承</th>
<th>調査地点</th>
<th>調査年月日</th>
<th>緯度</th>
<th>經度</th>
<th>対照地盤高(m)</th>
<th>報告地盤高(m)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>三河町</td>
<td>原来宮殿寺中庭院＝竹林の際にある</td>
<td>宮殿寺駐車場</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'55.8&quot;</td>
<td>138°56'32.3&quot;</td>
<td>5.0</td>
<td>5.0</td>
</tr>
<tr>
<td>四国日</td>
<td>原方二不後家＝被取</td>
<td>原方地区一帯</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'25&quot;</td>
<td>138°56'26&quot;</td>
<td>3.9</td>
<td>&gt;3</td>
</tr>
<tr>
<td>三田町</td>
<td>上町は7軒だけ家が流されを受けたことに由来する</td>
<td>木町</td>
<td>2010/11/10</td>
<td>34°47'14.86&quot;</td>
<td>138°56'34.57&quot;</td>
<td>5.1</td>
<td>5.1</td>
</tr>
<tr>
<td>伊豆町</td>
<td>早稲田、寺下まで潮来、家賃道、潮来道＝竜谷、大原付、田尻道、松原付＝大山口道</td>
<td>家賃道</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'12.43&quot;</td>
<td>138°53'31.74&quot;</td>
<td>3.4</td>
<td>3.4</td>
</tr>
<tr>
<td>伊豆町</td>
<td>早稲田、寺下まで潮来、家賃道、潮来道＝竜谷、大原付、田尻道、松原付＝大山口道</td>
<td>大原付</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'12.43&quot;</td>
<td>138°53'31.74&quot;</td>
<td>3.4</td>
<td>3.4</td>
</tr>
<tr>
<td>伊豆町</td>
<td>早稲田、寺下まで潮来、家賃道、潮来道＝竜谷、大原付、田尻道、松原付＝大山口道</td>
<td>田尻付</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'12.43&quot;</td>
<td>138°53'31.74&quot;</td>
<td>3.4</td>
<td>3.4</td>
</tr>
<tr>
<td>伊豆町</td>
<td>早稲田、寺下まで潮来、家賃道、潮来道＝竜谷、大原付、田尻道、松原付＝大山口道</td>
<td>大山口道</td>
<td>2010/11/12</td>
<td>34°47'12.43&quot;</td>
<td>138°53'31.74&quot;</td>
<td>3.4</td>
<td>3.4</td>
</tr>
<tr>
<td>湯津市内浦三津</td>
<td>当村も小島田＝方の家々は、かかと三尺尺＝木屋根津波死上り鼻続</td>
<td>旧道の踏面</td>
<td>2010/11/10</td>
<td>34°36'59.64&quot;</td>
<td>138°53'05.36&quot;</td>
<td>2.3</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>静岡市清水区三社</td>
<td>湯津は礼朝＝方下り続</td>
<td>旧道の踏面</td>
<td>2010/11/10</td>
<td>34°36'59.64&quot;</td>
<td>138°53'05.36&quot;</td>
<td>2.3</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>静岡市清水区三社</td>
<td>湯津は礼朝＝方下り続</td>
<td>旧道の踏面</td>
<td>2010/11/10</td>
<td>34°36'59.64&quot;</td>
<td>138°53'05.36&quot;</td>
<td>2.3</td>
<td>2.3</td>
</tr>
<tr>
<td>静岡市清水区三社</td>
<td>湯津は礼朝＝方下り続</td>
<td>旧道の踏面</td>
<td>2010/11/10</td>
<td>34°36'59.64&quot;</td>
<td>138°53'05.36&quot;</td>
<td>2.3</td>
<td>2.3</td>
</tr>
</tbody>
</table>